

平成22年度 文化庁芸術団体人材育成支援事業

日本の作曲家 2011

「日本の作曲家2011」は第1夜が若い世代の作曲家の作品を特集した
 「ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ」
 第2夜は、第38回となる社団法人日本作曲家協議会の楽譜制作作品による室内楽コンサート。
 7作品を演奏。
 そして第3夜は昨年に続き世界の第一線で活躍する演奏家プロデュースによるコンサート。
 今回はヴァイオリニスト大谷康子、ピアニスト藤井一興両氏をお迎えし、8作品を演奏。
 それぞれ違った魅力に溢れる3公演をお楽しみください。

PROGRAM

第1夜

**新進作曲家による室内楽作品のタベ
「ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ」**

1月21日(金) 19時 開演(18時30分開場)
 東京オペラシティ リサイタルホール

第2夜

第38回 楽譜制作作品演奏会

1月27日(木) 19時 開演(18時30分開場)
 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

第3夜

大谷康子プロデュース

1月28日(金) 19時 開演(18時30分開場)
 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)



YASUKO OHTANI

KAZUOKI FUJII

>>> 入場料(各日) **3,000 yen**(全席自由)

■電話予約・お問い合わせ

日本作曲家協議会 03-5474-1853
<http://www.jfc.gr.jp> e-mail: info@jfccomposers.com
 東京コンサツ 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>
 (HPで予約、セブンイレブンで支払・受取ができます)

■前売り

電子チケットぴあ 0570-02-9999
 [Pコード] 《1/21》123-501 《1/27》123-504 《1/28》123-505
 サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (第1夜のチケットのみ取り扱い)

主 催 ■ 社団法人 日本作曲家協議会
 助 成 ■ 公益財団法人 花王芸術・科学財団
 後 援 ■ 日本音楽作家団体協議会(FCA)
 制作協力 ■ 株式会社 東京コンサツ

会場のご案内

**東京オペラシティ**

- 京王新線 初台駅・東口より徒歩2分
- 小田急線 参宮橋駅より徒歩12分
- 都営大江戸線 西新宿五丁目駅・A2出口より徒歩13分

**サントリーホール**

- 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅・3番出口より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 溝池山王駅・13番出口より徒歩7分
- 都営01系統バス(渋谷～新橋)赤坂アーチビルズ前下車

1月21日(金) 19時 開演(18時30分開場) 東京オペラシティ リサイタルホール

第1夜

ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ

新進作曲家による室内楽作品のタベ

福原真衣子 : consolante (2009) [pf]

水沼慎一郎 : Kairos (2010)《初演》[vn]

石田匡志 : 題名未定(新作)《初演》[fl, pf]

藤原典子 : In a Dissonant Landscape II for Piano (2009) [pf]

大久保友子 : Frieze II (2009)《初演》[fl, vn, pf]

山根明季子 : 少女メランコリー (2010)《初演》[vn, toy pf]

森山智宏 : Night Passage III (2010)《初演》[fl, vn]

松本祐一 : Double Duo (2009)《初演》[vn, pf, 映像]

【演奏】フルート=多久潤一郎 ヴァイオリン=辺見康孝 ピアノ=大須賀かおり



福原 真衣子

相愛中学、相愛高校音楽科を経て2年次まで相愛大学音楽学部ピアノ科に在籍していたが、3年次より作曲専攻に転科。第17回全日本ユニアクラシック音楽コンクール・作曲部門(大学生の部)審査員特別賞受賞。現在、CM曲や劇伴音楽の作曲や伴奏者として活躍しながら相愛大学音楽学部作曲専攻、専攻科に在籍中。これまでに作曲を大前哲、奥本順子各氏に師事。ピアノを宮崎恵美子、兼子万実子、宮下直子各氏に師事。



水沼 慎一郎

新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程音楽表現コース作曲専攻卒業。主な活動歴「仙台クラシックフェスティバル」「卸町Loopシリーズ」、エイベックス「Dorlis」等のピアニストとして出演、「創建ホーム」CM音楽等。東北の作曲家2010に作曲作品を出展。会津・漆の芸術祭に出演。作曲を門脇治、鈴木雅光、清水研作の各氏に師事。

塩釜高校非常勤講師。日本作曲家協議会会員。



石田 匡志

1979年東京生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。2003年、JFC作曲賞入選。

2005年、「創造の杜」にて大学院修了作品「幻想曲第2番」が選抜され、若杉 弘指揮、芸大フィルハーモニア演奏により初演される。これまでに作曲を山田 泉、浦田 健次郎、小山 薫の各氏に師事。現在鹿児島大学教育学部音楽科専任講師。



藤原 典子

広島市生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学大学院修士課程、及び英国北王立音楽院を修了。アカンサス音楽賞、第9回東京国際室内楽作曲コンクール第3位、第25回ACL青年作曲賞第2位入賞。'06~'08年、文化庁海外在外研修員。これまでに作曲を久留智之、北村昭、南弘明、松下功、Adam Gorb、David Horneの各氏に師事。作品はJane Sheldon、アンサンブル ジェネシス、Andreas Böhnen等の演奏家から委嘱され、各地で演奏されている。



大久保 友子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を北村昭、池辺晋一郎、佐藤真、松下功の各氏に師事。ヴァイオリンとピアノのための「遠い声」にて東京国際室内楽作曲コンクール第3位入賞。ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための「Frieze」にてTIAA全日本作曲家コンクール入選。その他の作品に室内オーケストラのための「Reflection II」、ピアノのための「祈り」などがある。



山根 明季子

1982年大阪府生まれ。「音を視る」という観点から造形をデザインするというコンセプトで作品をつくっている。京都市立芸術大学及び同大学院修了、ブレーメン芸術大学派遣留学。日本音楽コンクール第1位、芥川作曲賞など。これまでにNHK交響楽団、読売日本交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等のオーケストラ委嘱や、国内外の演奏家、アンサンブルによつて作品が演奏されている。現代音楽コンサートシリーズ“eX.(エクスドット)”主宰。



森山 智宏

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を宮闇芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選、第17回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門(一般の部)第1位。ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、ピティナ等より委嘱を受ける。現在、桐朋女子高等学校音楽科教諭、同大学講師。作曲家グループ「プレゼンテーション」同人。



松本 祐一

茨城大学工学部電気電子工学科卒業。会社員を経て、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)を卒業。作曲を早川和子、三輪真弘に師事。アンケートの文章から音楽を作るアンケート・アートを中心に、アーティストのサポートや、数多くの映像作品に楽曲を提供。第7回SICF南條史生賞受賞、第1回AACサウンドパフォーマンス道場入選、2008年度武満徹作曲賞第1位、eco japan cup 2008 アート部門準グランプリ、第19回芥川作曲賞ノミネート。

1月27日(木) 19時 開演(18時30分開場) サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

第2夜

第38回 楽譜制作作品演奏会

- 清水慶彦** : トリトリー
アンサンブル リュネット フルート=小山真之輔、谷風佳孝、江戸聖一郎
- 金丸めぐみ** : 山村暮鳥の三つの詩
ソプラノ=田中詩乃 ピアノ=羽石道代
- 山下耕司** : かすかな憧憬
ヴァイオリン=瀬川光子 チェロ=ドミトリー・フェイギン ピアノ=新見・フェイギン・浩子
- 倉内直子** : 植物相一波動の変換
カルチエミュジコ ヴァイオリン=富山ゆりえ、中澤沙央里 ヴィオラ=中山良夫
チェロ=森田香織
- 喜納政一郎** : 湧水の樹
ヴァイオリン=甲斐史子、小松美穂 ヴィオラ=藤原歌花 チェロ=松本卓以
- 板本勝百** : ピアノ詩曲「晩秋の朝霧」
ピアノ=岡田雅子
- 遠藤雅夫** : <フリーズ!> 五奏者のために
指揮=安良岡章夫 フルート・アルトフルート=田中隆英
オーボエ・イングリッシュホルン=大島弥州夫 クラリネット=有馬理絵 ヴィオラ=甲斐史子
コントラバス=吉田秀



清水 慶彦

大阪芸術大学芸術計画学科を経て京都市立芸術大学作曲専攻を音楽学部賞、京都音楽協会賞を得て卒業。大学派遣によりブレーメン芸術大学に留学。2009年、京都市立芸術大学院博士課程修了、簾敏郎の作品研究論文にて博士号取得。2010年、Studio N.A.T.レーベルより作品集CD『六相円融』をリリース。現在、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師。



金丸めぐみ

1963年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。作曲を佐藤眞、南弘明の各氏に、音楽学を永富正之氏に、ピアノ伴奏法を主とする音楽全般を故アンリエット・ピュイグ=ロジェ氏に師事。カワイ出版、日本作曲家協議会、マザーアース(株)からの作品出版の他、共著楽書「メトード・ソルフェージュ」(音楽之友社)がある。現在、東京藝術大学及び同大学附属音楽高等学校にてソルフェージュ非常勤講師。



山下 耕司

1952年愛知県生まれ。愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。作曲を石井歡、保科洋氏に師事。ピアノを田邊緑氏に師事。作品は古典的なフォルムを重視した室内楽、ピアノ曲、声楽曲が中心。最近は構成にとらわれず自由な発想で書くことが多くなった。昭和55年笛川賞(合唱部門)第1位受賞「ひとり林に」(詩 立原道造)。現在、くらしき作陽大学教授、音楽教育学科長。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、中国・四国の作曲家、各会員。



倉内 直子

武蔵野音楽大学卒業、同大学院音楽研究科修了。1985年、第54回日本音楽コンクール入選。同年第2回日本現代音楽協会作曲新人賞入選。1986年~1988年、福井直秋記念奨学生。

2003年第23回アジア音楽祭ACL(東京)にて室内楽作品が演奏される。2007年第26回ACL音楽祭(ニュージーランド)にて、打楽器四重奏が演奏される。2011年1月、米、サンタクルーズにて打楽器独奏作品が演奏される。現在、活水女子大学音楽学部非常勤講師。



喜納 政一郎

1946年京都市生まれ。和声学、対位法を嵐野英彦氏に師事、作曲法、管弦楽法を故福島雄次郎氏に師事する。作曲グループ「樹」同人、混声合唱団「樹」音楽監督、反核日本の音楽家たち会員、日本作曲家協議会会員。

主要作品: Chrono-II、「樹の息吹」~アジア現代音楽祭上演曲、「樹映」、響息の樹—オーケストラのための、合唱曲—夢見たものは、バレー音楽「光の精」(オペラ「環」より)遠藤綾野コラボ作品。



板本 勝百

東京藝術大学作曲科卒。1984年笛川賞、85、86年神奈川芸術祭合唱曲作曲コンクール入賞、1994年「新・波の会」日本歌曲コンクール最優秀賞。2009年韓国嶺南現代音楽祭で作品発表する。日本作曲家協議会、九州・沖縄作曲家協会、国際芸術連盟の各会員。出版楽譜: 2つのピアノ曲、「晩秋の朝霧」(JFC出版)、混声合唱とピアノのための組曲「たれも わされた そのはじめの日の ことを…」(カワイ出版)



遠藤 雅夫

東京在住。東京藝術大学大学院修了。日本音楽コンクール入選。音楽之友社作曲賞受賞。文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。06年2月、ニューヨークで開催されたミュージックフロムジャパン公演に委嘱を受けて参加。07年3月韓国「21世紀音楽学会」主催国際現代音楽コンクールに審査員として招かれる。現在、日本現代音楽協会理事、(社)日本作曲家協議会理事、日本・ロシア音楽家協会運営委員長。

1月28日(金) 19時 開演(18時30分開場) サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

第3夜

大谷康子・プロデュース

- 八木下茂 : ヴァイオリンソナタ 第5番(2004)
中野 稔 : ロンド(1979)
吉川和夫 : 無伴奏ヴァイオリンのための〈3つの短編〉
(2006/2010改訂)《初演》
鈴木理恵子 : アーモンド プラリネ ムーン
—ヴァイオリンとピアノのための(2010)《初演》
菅野由弘 : 星曲線 —ヴァイオリンとコンピュータのための
(2010)《初演》
高原宏文 : ヴァイオリンとピアノのためのコミュニケーションVII 情景
(2010)《初演》
中川俊郎 : ヴァイオリン独奏と生きたオブジェのための“協奏曲”(2010)《初演》
大政直人 : 遅咲きの薔薇Ⅱ —ヴァイオリンとピアノのための一(2010)《初演》
【演奏】ヴァイオリン=大谷康子 ピアノ=藤井一興



八木下 茂

1951年横浜生まれ。早稲田大学大学院音響工学専攻。ヴァイオリンを西出洋子、ピアノを堀道子、和声学の初步を故原博、フーガの初步を小森俊明 各氏に師事。作曲を10歳から独学で履修した。



中野 稔

1961年生まれ。医師より筋ジストロフィーとの診断を受け、9歳の時から療養生活を始める。病院内でサンライズというバンドを結成、作詞、作曲、編曲を手がけ、ウォーカルとキーボードを担当して多数のコンサートを行う。一方、独学でクラシックの作曲を学び、18歳で处女作「ロンド」を作曲。作品はポップス作品も含めて100曲以上にのぼる。2000年以降は自分自身の音楽の原点に帰り、ピアノやヴァイオリンなどの器楽作品を手がけている。



吉川 和夫

1954年生まれ。東京藝術大学大学院修了。器楽曲、室内楽曲、室内オペラ、合唱劇、日本の伝統楽器のための作品などを中心に作曲活動を展開。国立劇場委嘱による新作聲明『論義ビチテリアン大祭』は、既成のジャンルにあてはまらない音楽劇のスタイルを拓いた作品として評価された。2004年には新作雅楽『木々の記憶』がニューヨークで初演。1996年放送文化基金賞受賞。CD『トゥバラーマ~吉川和夫作品集』など。宮城教育大学教授。



鈴木 理恵子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程作曲專攻修了。作曲を尾高惇忠氏に師事。室内楽、オーケストラ、邦楽曲など幅広い分野で意欲的に作曲活動を行なう。2006年アンデパンダンで初演された真朱(鼓、尺八、チェロ)が、聴衆によるもう一度聴きたい曲に選ばれ2007年再演、二世 宮下秀別氏の委嘱により2006年、雪月花(独奏箏)初演、芭蕉の句による森羅万象(邦楽合奏)より「荒海や佐渡に~」浅草みちびき祭りにて2006年初演される。



菅野 由弘

東京藝術大学作曲科修了。79年「弦楽四重奏曲」がモナコ・プランス・ピエール作曲賞。94年、電子音楽「時の鏡」—風の地平—がユネスコ主催IMC推薦作品、02年「アウラ」でイタリア放送協会賞受賞。作品は、国立劇場委嘱の雅楽、聲明、古代楽器のための「西行—光の道」(春秋社刊)、NHK交響楽団委嘱のオーケストラ「崩壊の神話」、NHK大河ドラマ「炎立つ」、NHK「フレンツェ・ルネサンス」など。現在早稲田大学教授。



高原 宏文

1934年鳥取県生まれ。国立音楽大学作曲科卒業。同専攻科修了。第28回日本音楽コンクール作曲部門、室内楽曲の部第3位入賞。現在、日本作曲家協議会、日本現代音楽協会会員。国立音楽大学名誉教授。



中川 俊郎

1958年東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒、作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。『Music Today '82』10周年記念国際作曲コンクール第一位。83年、村松賞。グループ「アールレスピラン」として第12回中島健蔵音楽賞。2009年サントリー芸術財団主催で、全曲オーケストラ作品による個展を開催。第28回中島健蔵音楽賞。日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会理事。



大政 直人

1954年2月生まれ。東京藝術大学大学院作曲科修了。作曲を甲斐説宗、野田暉行の各氏にヴァイオリンを二村英之氏に師事。2005年銀座王子ホールにおいて須川展也、大谷康子、神谷百子、苅田雅治、中川俊郎など9名の演奏家を迎える個展を行い好評を博す。またそのライブCDはレコード芸術誌で特選盤に選定される。現在、日本作曲家協議会理事、深新會副代表、日本現代音楽協会会員。

